

講義科目名称： 成人看護学Ⅰ

授業コード： 2230200900

英文科目名称： Adult Health Nursing Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員			
◎石田和子、◎高柳智子、樺澤三奈子、小林綾子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期 【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <table> <tr> <td>【氏名】</td><td>【研究室】</td></tr> <tr> <td>◎石田 和子</td><td>317</td></tr> <tr> <td>◎高柳 智子</td><td>203</td></tr> <tr> <td>樺澤 三奈子</td><td>318</td></tr> <tr> <td>小林 綾子</td><td>205</td></tr> </table> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎ ○</p>	【氏名】	【研究室】	◎石田 和子	317	◎高柳 智子	203	樺澤 三奈子	318	小林 綾子	205
【氏名】	【研究室】										
◎石田 和子	317										
◎高柳 智子	203										
樺澤 三奈子	318										
小林 綾子	205										

到達目標	<p>1. 成人期にある人々の健康レベルに応じた健康課題と看護の役割について説明できる。</p> <p>2. 慢性的な健康障害をもつ人々と家族の特徴およびセルフケアを支える看護について、理論・概念を活用して説明できる。</p> <p>3. 終末期にある患者と家族の特徴と、人生の最期のときを支える看護について説明できる。</p>
------	--

授業概要	成人期にある人々の健康と生活を包括的にとらえ、疾病の回復期にある人々、慢性的な経過をたどる人々および終末期にある人々に対する看護を実施するための基礎的能力を養う。本科目では成人期における健康課題に応じた基本的な看護を概観するとともに、健康レベルに応じた看護の特徴について理論を活用して学ぶ。
------	---

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学習課題：成人期における健康課題と看護① 学習内容：ガイダンス 社会状況の変化と成人の生活 備考：石田</p> <p>2 授業内容 学習課題：成人期における健康課題と看護② 学習内容：生活習慣や生活ストレスに関連する健康障害、職業に関連する健康障害 備考：高柳</p> <p>3 授業内容 学習課題：成人期における健康課題と看護③ 学習内容：0～3次予防、健康増進に向けた施策 備考：樺澤</p> <p>4 授業内容 授業形態：講義 学習課題：成人期にある人々と家族への看護 学習内容：成人期にある人々と家族の理解 セルフケアの支援と健康教育 家族の看護 備考：小林</p> <p>5 授業内容 授業形態：講義 学習課題：成人期にある人々の健康レベルに応じた看護① 学習内容：回復期看護 回復期にある人々の理解と看護ケア 備考：樺澤</p> <p>6 授業内容 授業形態：講義 学習課題：成人期にある人々の健康レベルに応じた看護②-1 学習内容：慢性期看護 慢性期にある人々の理解と看護ケア 備考：小林</p> <p>7 授業内容 授業形態：講義</p>
------	---

	<p>8</p> <p>学習課題：成人期にある人々の健康レベルに応じた看護③ 学習内容：終末期看護 終末期にある人々の理解と看護ケア 備考：石田</p> <p>授業内容 授業形態：講義 学習課題：成人期にある人々の健康レベルに応じた看護②-2 学習内容：慢性期看護 外来看護における療養継続の支援 備考：石田</p>
事前・事後学習	<p>・事前学習：どこカレの当該科目のコースに掲載されている、各授業回で学習するテキスト該当ページの内容を確認する。その際、形態機能学や看護学概論、公衆衛生看護学概論、ライフステージと看護等で既修した基礎知識を見直す。</p> <p>・事後学習：理解が不十分であった内容について復習を行う。</p> <p>※事前あるいは事後学習として、担当教員より授業中およびどこカレ上でレポート課題を指示することがある。</p>
評価方法、評価基準	筆記試験 100%：期末試験として、到達目標 1・2・3の達成度を評価する。
必携図書	<p>次年度以降に開講される成人看護学の講義・演習・実習科目でも使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松浩子他：系統看護学講座 成人看護学総論，医学書院 ・中西純子他（編）：成人看護学 リハビリテーション看護論，ヌーヴェルヒロカワ ・鈴木志津枝他（編）：慢性期看護論，ヌーヴェルヒロカワ
参考図書・資料等	適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	<p>・授業の日程や事前準備、試験等に関することはどこカレで周知する。授業計画に沿って必携図書に目を通し、自己学習したうえで授業に臨む。</p> <p>・欠席、追試、再試の各手続は学生便覧に従って行う。なお、私語など他の学生の受講に支障となる行為は厳禁とする。</p> <p>・出席日数が規定に満たない学生は試験を受けることはできない。20分以上の遅刻は欠席扱いとする。</p>
教員からのメッセージ	成人看護学の対象や範囲は幅広いですが、この科目が基盤になります。積極的な姿勢で参加してください。
オフィスアワー	